第３次南アルプス市総合計画
施策マネジメントシート

作成日：令和8年 7月17日
更新日：令和8年 8月 4日

政策No.	1	政策名	「多様なみんながつながる、安全・安心のまち」の実現	施策主管課	市民活動支援課
施策No.	1	施策名	地域コミュニティの充実	施策主管課長名	清水 充
施策関連課名		窓口サービスセンター、（観光推進課）			

1 施策の目的と指標

意図（この施策によって何をどう変えるのか）
市民が主体的に自治会活動に参画している、

	成果指標（意図の達成度を表す指標）	単位
1	「私は、同じ区や組に住む人たちを信頼している」と思う市民の評価	―
2	市内世帯について、自治会に加入している世帯の割合	%
3	「自治会などの活動により、地域が活性化している」と感じる市民の割合	%
4	自治会役員における女性の割合	%

成果指標の測定方法 どのように実績値を把握するか		
	1	市民アンケートにおいてWell-being指標を測定
	2	毎年4月1日の自治会加入報告世帯数÷住民基本台帳世帯数×100
	3	市民アンケート『自治会などの地域活動により、地域が活性化していると感じますか』において、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した市民の割合
	4	自治会役員のうち、女性の占める割合

2 指標等の推移

指標名			単位	数値区分	前期基本計画 R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	後期基本計画 R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度
成果指標	1	「私は、同じ区や組に住む人たちを信頼している」と思う市民の評価	―	目標値	3.6	3.6	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8
				実績値	3.6									
	2	市内世帯について、自治会に加入している世帯の割合	%	目標値	70.0	70.5	71.0	71.5	72.0	72.5	73.0	73.5	74.0	74.5
				実績値	65.7									
	3	「自治会などの活動により、地域が活性化している」と感じる市民の割合	%	目標値	34.0	34.0	34.0	34.0	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0
				実績値	35.5									
	4	自治会役員における女性の割合	%	目標値	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0
				実績値	1.5									

3 施策の役割分担

市民の役割	事業者の役割
• 挨拶をしたり声かけを行うなど、近所同士のコミュニケーションを大切にします。 • 自治会の制度や活動を見直すことにより、役員の負担を軽減します。 • 誰もが安心して意見が言えるような組織づくりを目指します。	• 自治会が行う地域コミュニティ活動やイベントなどを支援し積極的に参画します。

4 施策の現状と課題および状況変化・住民意見等

※現状と課題および基本計画策定時点からの状況変化・住民意見等を記載しています。

施策の現状と課題	施策を取り巻く状況変化 関係者からの意見・要望
・自治会への加入率は、年々減少傾向にあり、住民相互の連帯感が薄くなり、災害時の協力や自治会運営に支障をきたしている自治会が発生している。 ・自治会活動への理解が進まないことや住民の高齢化等により担い手が不足している。	・人口減少や少子高齢化の進行により、自治会活動の担い手不足が深刻化している。 ・自治会役員からは、「役員の負担が大きく、担い手が不足しているため、運営の効率化や負担軽減を進めてほしい」との意見がある。

5 予算等の推移

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

区分		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
関連事業本数		7	7			
関連事業予算額（単位：千円）		95,619	73,345			
（予算額の内訳）	国庫支出金	0	0			
	県支出金	802	792			
	地方債	0	0			
	その他	79,354	55,000			
	一般財源	15,463	17,553			

6 施策の成果水準とその背景

目標達成度 （目標値との比較）	背景と要因等（根拠となる実績値・判断基準等）
□ 目標より高い実績値だった □ 目標どおりの実績値だった ☑ 目標より低い実績値だった	成果指標1「同じ区や組に住む人たちを信頼していると思う市民の評価」は実績値3.6で目標値3.6を達成した。また、成果指標3「自治会などの活動により、地域が活性化していると感じる市民の割合」は実績値35.5%で目標値34.0%を上回った。一方、成果指標2「自治会加入世帯の割合」は実績値65.7%で目標値70.0%を下回り、成果指標全体としては目標より低い実績であったと評価した。
時系列比較 （どのように変化してきたか）	背景と要因等（根拠となる実績値・判断基準等）
□ 成果がかなり向上した □ 成果は変わらない（横ばい状態） ☑ 成果がかなり低下した	成果指標2自治会加入率は、前計画期間において継続的な減少傾向にあり、R6年度実績66.8%からR7年度実績65.7%へさらに1.1ポイント低下した。また、成果指標3自治会などの活動により地域が活性化していると感じる市民の割合についても、R6年度実績37.1%からR7年度実績35.5%へ1.6ポイント低下している。
他団体比較 （近隣他市、県・国との比較など）	背景と要因等（根拠となる実績値・判断基準等）
□ かなり高い成果水準である □ ほぼ同水準である ☑ かなり低い成果水準である	自治会加入率については、過去の比較資料では甲斐市や笛吹市など近隣同規模自治体を下回る状況にあり、本市の課題となっている。一方、地域住民間の信頼感や地域活性化の実感については調査手法が異なるため単純比較は困難である。

7 施策の方向性

- 自治会加入を促進し、自治会活動への参加を呼び掛けます。
- 市民が自治会活動に参画しやすいよう、自治会活動の負担軽減や運営の効率化を図ります。
- 自治会活動の認知度の向上や、地域における重要性の理解を図ることにより、意識の醸成を図ります。
- 多様な人材に自治会活動へ参画を促すことで、地域力の向上を図ります。
- 地域での活動やイベントを通して、市民相互の連携を深め、地域のつながりを改めて認識するとともに、相互扶助の意識を高めます。

8 施策の目標達成のための基本事業の今年度の取組（事務事業）状況・今後の課題・今後の方針

重点事業		今年度の取り組み状況	今後の課題	今後の方針
1	自治会活動の市民への周知と参画の促進	市自治会連合会と連携し、自治会役員の負担軽減に向けた意見交換を実施し、自治会運営上の課題把握及び情報共有を進めている。	単身世帯の増加やライフスタイルの多様化により自治会活動への関心が低下している。	自治会活動の意義や加入メリットを分かりやすく発信するとともに、転入時における加入勧奨を継続し、自治会活動への理解促進と加入率の向上を図る。
2	自治会活動への支援	自治会への財政的支援を継続するとともに、自治会連合会との意見交換を通じて、役員負担の軽減や運営上の課題の把握に取り組んでいる。	高齢化や担い手不足により役員負担が増加しているほか、自治会ごとの活動格差も見られる。	自治会運営の効率化や負担軽減に向けた支援を継続するとともに、デジタル活用による事務負担の軽減を検討する。